



福島大学教職大学院生来校！ 学校現場で生きた研究を推進！

今年から年間を通じて、福島大学の教職大学院の学生が2名、本校に入り、一小的児童の皆さんや、先生方との交流を通じて自分の研究を進めていくことになりました。



一人は、加倉井英紀先生です。加倉井先生は昨年度まで一小的の先生として子どもたちに教えていただいていたのですが、今年度からは、大学院生として、子どもたちとのかかわりをおして、社会で生きていくためにはどのような力が必要なのか、生き方に関する研究をしていくことになりました。主に、6学年配属となります。



二人目は、川島苑子先生です。川島先生は2年後には正式な教員として子どもたちの前に立ちますが、その前に、子どもたちが一生懸命考えてくれる授業はどんな授業か、という授業のあり方について研究をしていきます。主に3学年配属となります。

子どもたちが年齢の近いお兄さんお姉さんと触れ合う中で、大学院生という身近な学ぶ存在が、新たな子どもの気づきや学ぶ意欲につながることを期待しています。

除去土壌収集・運搬工事開始 安全第一に実施して参ります。

6月1日から7月31日までの2ヶ月間、一小的校庭に埋めてある表土の撤去作業が開始されます。東側約半分が対象となります。工事予定及び安全対策は以下の通りです。粉塵が上がらないよう細心の注意を払い進めていただきます。2ヶ月間校庭の使用には制限がかかりますが、子どもたちの運動量の確保、効果的・効率的な授業を安全第一で進めて参ります。保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。工事状況は学校便りでお伝えいたします。

<工事予定>

- 1～5日 仮囲い設置
- 6～10日 表土除去
- 11～7/8 土壌搬出
- 9～14日 埋戻し。暗渠排水工事
- 11～20日 整地
- 21～31日 囲い撤去・仕上げ整地

<安全対策>

- 3メートルの囲いの中での作業となります。
- 表土除去の際には常に水をまき舞い上がらないようにしてもらいます。
- 児童の登校時間が過ぎてからの作業(8:30～17:00)となります。
- 線量を毎日数回測定し安全を確認します。
- 出入り口にはガードマンが立ちます。

